

2022 年度 第 1 回医療安全監査委員会 結果概要

日 時：2022 年 08 月 05 日（金）13 時 02 分～15 時 15 分

場 所：国立国際医療研究センター病院 研修棟 2 階幹部会議室及び teams にてオンライン併用

出席者：（外部委員）山本 知孝 東京大学医学部附属病院 環境安全管理室長

細川 大輔 細川大輔法律事務所・弁護士

島 宏一 グリー株式会社・取締役監査等委員

（内部委員）武井 貞治 国立国際医療研究センター 企画戦略局長

岡野 睦 国立国際医療研究センター 統括事務部長

（院内参加者）杉山病院長

原副院長・医療安全管理責任者

高本医療安全管理部門長・室長

百武副薬剤部長・医薬品安全管理責任者

大曲国際感染症センター長

小櫃調達企画室長

土井副看護師長・医療安全管理室

木村看護師長・医療安全管理者

深谷臨床工学技士長・医療機器安全管理責任者

堀井副看護師長・感染管理認定看護師

鈴木患者相談係長

大樂医療安全管理室事務（書記担当）

報告・審議事項

- ・ 指針、規程の改訂について（医療に係る安全管理のための指針、透析機器医療安全管理委員会規程）
- ・ 医療安全管理体制（組織図、医療安全管理室構成員）
- ・ 医療に係る安全管理の為に委員会（医療安全管理委員会、リスク分析委員会、医療機器安全管理委員会、透析機器安全管理委員会、医薬品安全管理委員会）
- ・ 医療安全管理部門への報告（インシデント・アクシデントレポート、患者影響レベル 3b 以上事例、患者影響レベル 3a 事例、患者影響レベル 2 以下事例、合併症）事例
- ・ 事例検討会
- ・ 外部への報告（医療事故情報収集等事業）
- ・ 医療安全に係る研修実施状況
- ・ 第三者評価
- ・ 医療安全に係る取り組み（リスクマネージャー会議、医療安全パトロール、NCGM 春の医療安全推進週間、転倒・転落対策チーム）
- ・ 未承認新規医薬品等評価部報告
- ・ 高難度新規医療技術評価部報告
- ・ 紛争事案
- ・ 院内感染管理室報告

講評

- ・ 特定機能病院に求められる医療安全管理の取り組みはなされていると判断した。
- ・ 前回指摘した事項（リスクマネージャー会議の欠席者への対応等）について改善されていることを確認した。
- ・ 個人情報について、非常に重要なものであるため現場の意識を高める取り組みをお願いしたい。
- ・ 造影剤の事例に関して、2014 年の教訓が薄れてきている可能性があるため注意喚起を十分して欲しい。
- ・ 患者誤認は時季により増加している可能性もありそのタイミングで注意喚起を強める等の対応をお願いしたい。
- ・ 感染管理に関して、適切な指標を立て効果も含めて PDCA サイクルを回しているという事を確認した。ピペラシリンとタゾバクタムの血培提出率について、課題と認識されているので引き続き取り組みをお願いしたい。
- ・ COVID-19 の院内感染に関して、手本になる予防策の検討をお願いしたい。
- ・ 次回、個人情報関連事例（重要なものの分析・対策立案、数の多いものの提示）、薬剤の取り扱い事例（経時的な推移）を挙げてほしい。